

## フルオレセインアミン標識コンドロイチン硫酸 D ナトリウム (D2)

製品コード：FACS-D2(ShC)3

表示量：3mg/vial

性状：黄色ないし黄橙色の非晶質性の塊又は粉末（凍結乾燥物）

コンドロイチン硫酸 D ナトリウムの由来：Shark Cartilage

蛍光基：フルオレセインアミン

蛍光基の CAS 番号：3326-34-9

製品概要：コンドロイチン硫酸はグルクロン酸と N-アセチルガラクトサミンから構成されるグリコサミノグリカン的一种で、軟骨に多く含まれています。本品はサメ軟骨由来のコンドロイチン硫酸 D ナトリウムを Ogamo らの方法<sup>1)</sup>に従って蛍光標識したもので、グルクロン酸のカルボキシル基にフルオレセインアミンを導入しています。N-アセチルガラクトサミンの 6 位及びグルクロン酸の 2 位に硫酸基を有する構造 (D 構造) を 20-25%含んでいます。励起波長は 485-500nm、蛍光波長は 510-525nm です。1 バイアル当たり 3mg の凍結乾燥物を含みます。含量、分子量等の実測値は同封の Certification of Analysis をご覧下さい。

### 取扱上の注意：

- 1) 吸湿性です。湿気を避けて-20°C以下で保存して下さい。
- 2) 取扱に際してはできるだけ光を避けて下さい。強い光を避ければ、室温で操作可能です。
- 3) 溶解後は遮光して-20°C以下に保存してください。適当量を小分けして、保存されることをお勧めします。
- 4) **蛍光強度は溶液の pH で変化し、酸性では蛍光が弱まります。** 蛍光強度を測定する際は溶液の pH に注意して下さい。
- 5) 本品は研究用試薬であり、医薬品その他の目的にはご使用になれません。

### 文献：

- 1) Ogamo, A., et al.: Carbohydr. Res., **105**, 69 (1982)